

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者が何を考え、何を求めているか？を常に考え、その人の生活が安定するよう援助を心掛けている。 ○	常に入居者にとって「何が最良か？」を考え、サービスの提供に努めたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議やケアカンファレンス、日々の対話の中で理念に基づいた対話を行い、常に取り組みについて検討を行っている。 ○	機会がある度に理念に基づいた検討を行い、サービスの提供を行って行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時、また面会時など、折に触れご家族に理解と協力を求めている。 ○	今後ともご家族の協力の下、地域との繋がりを持って行きたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	買い物や散歩、レク活動の際に地域住民と交流を図れるよう支援を行っている。また、野菜の収穫時などに、地域の方に頂き物をするなど、少しずつではあるが地域住民とも交流がある。 ○	地域住民との連携を密にし、地域に開かれた事業所を目指したい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くの高校の文化祭に参加させて頂くなど、出来るだけ地域と交流を図れるよう支援を行っている。 ○	地域住民との連携を密にし、地域に開かれた事業所を目指したい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	空きベッドを活用してデイサービス（自主事業として）を行うなど、法人を挙げて、地域に貢献出来るよう取り組んでいる。	○	地域住民との連携を密にし、地域に開かれた事業所を目指したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を十分理解しており、得られた評価を分析・検討を行い、今後のサービスに生かして生きたいと考えている。	○	外部評価の意義を十分理解しており、得られた評価を分析・検討を行い、今後のサービスに生かして行きたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の開催はまだだが、今後、予定している。	○	地域の方から、より良い理解が得られるよう、定期的に運営推進会議を開催し、活用して行きたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月1回程度だが、町の担当者とも連絡を取り、近況報告・相談など、質の向上に努めている。	○	行政とも密に連絡を取る様にし、質の向上に努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護については理解しているが、職員との話し合いは行っていない。	○	職員会議やカンファレンスなど、職員と話し合いを行い知識の向上に繋げたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	折に触れ、虐待について職員とも話し合い、虐待の見過ごし方の無いよう努めている。	○	虐待が見過ごされることのないように努めたい。また、どんな時に、どんな虐待が起きやすいかなどの勉強会を開催したい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	お申し込みを受けた際、事前にご本人にホームを見ていただけるようお願いし、ご本人・ご家族にとって不安や疑問の無いようご説明を行っている。また、必要であれば、空きベッドを利用した体験入居（自主事業）も可能であることを伝え、ご理解・納得した上でご利用頂けるよう、取り組んでいる。	○	今後とも、ご本人・ご家族の理解と同意が得られるよう、取り組んで行きたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居の際、苦情相談の窓口（事業所内の担当者、行政窓口、国保連）について説明を行っている。また、各入居者にはケアプラン担当者がおり、苦情・相談の把握に努め、苦情・相談があった際には、速やかに解決されるよう努めている。	○	苦情・相談は質を高める為の申し出であると認識し、より良いサービスが提供出来るよう努めたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時は勿論、体調変化や必要物品の購入・検討の際、ご本人のご希望時、その他必要時にはご家族に連絡するなど、情報交換・共有、相談、検討を行っている。	○	ご家族との連絡を密に取り、情報の共有を図って行きたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居の際、苦情相談の窓口（事業所内の担当者、行政窓口、国保連）について説明を行っている。また、各入居者にはケアプラン担当者がおり、苦情・相談の把握に努め、苦情・相談があった際には、速やかに解決されるよう努めている。	○	苦情・相談は質を高める為の忠告であると認識し、より良いサービスが提供出来るよう努めたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、月1回の定期的な職員会議とケアカンファレンス、日常的な対話の中で、意見・提案を聞くように努めている。また、運営者との連絡を密にし、スタッフの不満・要望を報告・相談し対応する様努めている。	○	各スタッフと十分な対話を行い、スタッフが何を考え求めているか、また、不満や要望にどう対応するか、機会を設けるよう努めたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員会議を重ね、適切な時間帯に必要な人数が確保出来るように努めている。	○	刻々と変わる入居者・ご家族の状況の変化に対応出来るよう、今後も検討して行きたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフは固定せず、必要時にはローテーションを行うなど若干の環境変化はあるが、頻繁にスタッフを移動するのではなく、移動の場合もケアプラン担当者として引継ぎを行うなど、出来る限り馴染みの環境の中で生活出来るよう努めている。	○	スタッフの移動の際、入居者・ご家族への影響が最小限となるよう、十分検討したい。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他ホームでの取り組みや考え方について学べるよう、研修への参加を促している。	○	ホーム内での勉強会や検討会、ホーム外の研修会への参加など積極的に取り組んで行きたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	長野県宅老所・グループホーム連絡会への参加などを通じ、他ホームとの交流の機会を設けている。	○	研修会や連絡会などに積極的に参加し、ネットワーク作りに務めたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	月に数回は管理者と話し合い、現状の把握に努め、必要があれば人員や物品の確保、その他対応に努めている。また、年に1度は各職員と話し合う時間を設け、各職員の意見を汲み取るよう務めている。	○	出来る限り時間を確保し、各職員・入居者の意見を聞けるよう努めたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者からの報告や受診の際の話し合い、電話連絡などを通じ、勤務状況や各職員の意見を把握するよう務め、各職員が向上心を持って働けるよう務めている。	○	出来る限り時間を確保し、各職員の意見を聞けるよう努め、より働きやすい環境作りを目指したい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	可能な限り入居前に面談を行い、ご本人から話を聞くように務めている。	○	今後も継続して入居前の面談を行い、少しでも困っていること・不安が解消されるよう務めたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の際、また入居前の面談の際に、ご家族から話を聞くように務め、困っていること・不安が少しでも解消されるよう取り組んでいる。	○	今後も継続してご家族からの話を聞き、少しでも困っていること・不安が解消されるよう務めたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際、必要があれば、他のサービスの利用も含めた話し合いを行っている。	○	ご本人・ご家族が求めるサービスに近付けるよう、努めたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	相談・面談の際に、入居前に1度ご本人をお連れし、少しでもホームに馴染めるようご協力をお願いしている。また、空きベッドを利用した体験入居（自主事業）が行えることをお伝えしている。	○	実際の入居までに、少しでも雰囲気に馴染んで頂けるよう取り組んで行きたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を一緒に過ごし、関わる中で、信頼関係が築けるよう務めている。	○	より生活にハリを持って頂けるよう、係り活動を活かして行きたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会の際、また必要があれば電話連絡の際に、入居者の様子を報告・相談し、ご家族の意見を伺っている。	○	家族会を開催し、ご家族同士の支えあう関係作りも視野に入れた“関係作り”を目指したい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族との交流の機会（外出や外泊）が持てるよう支援している。	○	ご家族と良好な関係が築けるよう、支援を行って行きたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人、ご家族から話を聞き、対応出来るよう務めている。	○	情報収集に努め、対応して行きたい。（時には自分の住み慣れた家に行き、近所の方と交流を持って頂くなど）
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レク活動や係り活動を通じ、入居者同士が関われるよう務めているが、和に加われない入居者（精神的に、不安定になってしまう）がいる。	○	もっと、レク活動や係り活動を行い、活かして行きたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居の際、いつでもご連絡頂けるよう伝え、必要があれば支援出来るように体制を作っている。	○	サービス利用者としてだけでなく、地域としての関係作りを目指したい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人から話を聞き、ご本人の意思を尊重するよう心掛け、対応している。	○	ご本人の希望・要望の把握に努め、“その人らしい生活”“本人の望む生活”が送れるよう、努めたい。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族からの聞き取りを行い、なるべく今までと変わらない生活が営めるよう対応している。	○	可能な限り、馴染みの生活環境を継続できるよう、支援して行きたい。
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご本人の楽しみごとや役割など、その人が出来ること、実現可能なことを把握し、対応出来るよう取り組んでいる。	○	ご本人の“その時 その時”の状況に合わせた、役割や楽しみを把握・検討して行きたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	ご本人・ご家族、友人・知人からの聞き取りを行い、入居者本位のケアプランが作成出来るよう、ご家族、スタッフとも相談し、カンファレンスを行っている。	○	情報の共有と収集に努め、その人らしい生活が送れるよう、努めたい。
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプラン実施期間中に問題、変化があった場合は、ご本人・ご家族・スタッフと話し合い、その都度対応出来るよう努めている。	○	ご本人のその時の状況に合わせたプランが提供出来るよう、努めて行きたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活、気付きなど必ず個人記録に記入し、記録の際は、「誰が読んでも理解できる表現・文章」を意識するようにしている。また、日々の申し送りが確実に出来るよう、努めている。	○	いつでも、誰とでも情報の共有が図れるよう、また、専門用語を使うのではなく、誰が見ても分かる文章で記録を行う。そして、確実に申し送りが行われるよう努めて行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者・ご家族の要望など、出来る限り柔軟な対応・対応を行っている。	○	必要な時、必要なサービスが提供出来るよう対応して行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	高校文化祭に参加させて頂いたり、（入居者の希望により）町の図書館にて本を借りたりしている。	○	地域資源との関わりを深くし、協働してサービスが提供出来るよう努めたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居者の残存機能や意向、その他必要がある場合には、他のサービスの利用を含めた説明を行っている。	○	地域のケアマネジャーやサービス事業所との繋がりを持って行きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	当事業所内の居宅支援サービスを通じ、地域包括支援センターや他のケアマネジャーとも協働している。	○	事業所内だけでなく、地域に根ざしたサービスの提供が行えるよう、務めたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族と相談し、希望される医療機関にて、適切な医療が受けられるよう支援している。	○	ご本人・ご家族の意向を尊重し、同意を得た上で協力医療機関による適切な医療。または、ご本人・ご家族の希望されるかかりつけ医による適切な医療。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医師と職員が連携を密にし、診断や治療をしっかりと受けられている。	○	常に医師と連絡を取り、適切な診断や治療が受けられるよう努めたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職はいないが、職員一同、毎日入居者の状態把握やバイタルチェックを行っている。	○	毎日のバイタルチェックの施行や、特変時・急変時の対応の見直し、必要があれば改善。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した際、ご家族と連絡を取り合い情報を得るよう努めている。また、退院後も以前生活されていたと同様にホームで生活されている。	○	ご家族との情報共有に努め、対応に努めたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した（終末期を迎える）際、責任者・医師・ご家族とで話し合いを設け、職員全員がその方針を共有できるよう努めている。	○	カンファレンスを開催し、職員一同が情報を共有し、ケア方法など統一されるよう努めて行きたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居者が安心して暮らせるように、また、特変時にも対応出来るようにケアカンファレンスなどを設け、考え方の統一を図っている。また、必要時にはご家族とも相談し、ケア内容を検討している。	○	ターミナルを視野に入れたケアのあり方について、今後も検討して行きたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居時には面談・相談を行い、必要があれば自主事業の提供を行っている。また、退居時には、情報提供書（サマリー）やケアプランなど、ご本人に関係する必要情報をお渡しするなど、ダメージの減少に努めている。	○	今後も入居者の生活が守られるよう、務めたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	スタッフ一同、言葉掛けには気を付けているが、もし、必要があれば、互いに注意し合える。また、個人情報に関しては“個人記録”“申し送りノート”にて情報の交換を行っている。	○	“個人記録”は、毎日の生活や気付き、変化などプライバシーに関わる記録として扱っている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者の思いや希望を可能な限り実現できるよう、ご本人・ご家族の希望を聞き、ケアカンファレンスを開催した上で、ケアプランを確立している。	○	入居者の希望や要望に合わせ、定期的、または必要時にケアカンファレンスを開催し、常に提供しているサービスの質が向上するよう努めたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ケアプランに沿って、入居者のペースで、日々を過ごして頂いている。	○	入居者本位のサービスの提供に努めたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	可能な入居者には、ご本人に服を選んで頂き、歩行困難な方、理解力の低下されている方にはスタッフと共に衣類を選んで頂くなど、なるべくご本人の意思を尊重するよう努めている。また、理美容に関しては、散髪ボランティアに依頼するか、スタッフ・ご家族が同行し、地域の理美容院に出掛けるようにしている。	○	生活圏の広がりや交流・社交の場として、積極的に地域の店舗を活用して行きたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、準備・片付けを入居者に手伝って頂き、食事の際は、調理した形態を見て頂いた上で（目で楽しんで）、必要に応じて食べ易い形態に加工するようにしている。また、食事中はスタッフが積極的に声掛けするなど、雰囲気作りを心掛けている。	○	月に1回程度、外食（店舗）や普段と違った場所（屋外）での食事を計画したい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙希望者は火気類をスタッフが預かり、本人が希望した場合、所定の場所にて喫煙を行っている。また、飲み物やおやつに関しては、食材の買い物に行った際、入居者に選んで頂くようにしている。	○	飲酒に関して今までご希望者はいなかったが、喫煙同様、スタッフの管理の下、適時・適量を医師やご家族と相談し、ご本人の楽しみごとの一つとして対応して行きたい。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	『排泄チェック表』を作成し、排泄のリズムの把握に努め、必要に応じて①声を掛ける②トイレまで誘導するなどを行っている。また、段階を踏んだ上でご家族とも相談し、オムツの使用を検討している。	○	ご本人の羞恥心やプライドを傷付けない対応を心掛けたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3～4回（目安1日おき）の入浴を実施しているが、無理強いすることなく、拒否が見られた場合は翌日に送り、ご本人の満足が得られるよう努めている。またバイタルチェックを行い、体調の管理・確認をし、ご本人の希望があれば、予定に関係なく入浴して頂けるように対応している。ご自身で洗える所は、ご自身で洗って頂き、介助は最	○	午前入浴、午後入浴と、ある程度決まった時間の中で入浴して頂いている為、安全上、可能であれば、夕方や夜間浴も検討したい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居以前の生活リズムの把握に努め、入居者の生活が大きく変わらないよう努めている。また、夜の睡眠にひびかないよう、休息は午睡程度に留め、日中は起きていて頂けるよう努めている。	○	ご本人の生活リズムを崩さないよう支援して行きたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人・ご家族・友人・知人からの情報を元に、個々の能力に合わせた役割や昔やっていたことを楽しめるようケアプランを検討・実施・評価している。	○	個々の生活力を活かせるケアプラン作りを目指したい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額であればお預かりし、ご本人が希望した場合にはスタッフが付き添い、買い物を行っている。また、出・入金の際に出納帳をご家族に確認して頂きサインを頂いている。	○	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候を見て、買い物や散歩、外気浴など戸外にお誘いしている。また、希望時にはなるべく即時対応するよう努めている。	○	日常的に屋外に出て、気兼ねなく過ごせるような環境を作って行きたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族より連絡があった場合、時間までに外出・外泊の準備を行い、スムーズに出掛けられるよう支援している。また、行事を計画する際には、入居者から聞き取りを行い、希望に沿った行き先を検討している。	○	
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者から希望があった場合、状況（内容・時間帯など）に応じて電話を掛けたり、手紙を出しに行ったりと支援を行っている。また、外部から入居者宛ての電話が入った場合、相手を確認した上でご本人に取り次ぎ、居室などで他の入居者を気にせず会話出来るよう支援している。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の際には、入居者・訪問者が会話をし易いようスペースを作ったり、会話が続かない場合は、スタッフも加わり、近況の報告や昔のことを聞くなど、居心地よく感じて頂けるよう支援している。また、希望があれば居室でゆっくり過ごして頂き、入居者と訪問者が気兼ねなく過ごせるよう支援している。	○	訪問者がいつでも、気軽に来所して頂ける空間・環境作りを行って行きたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の内容と弊害を理解しており、開設から現在まで、身体拘束は一度も行っていない。	○	入居者の状態把握に努め、身体拘束を行わないケアを検討・実施して行きたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵はないが、玄関、裏口（非常口）、勝手口には、防犯用の施錠がなされている。中でも玄関は、SECOM（セコム）と連動しており、自動で施錠が掛かる仕組みとなっている為、入居者が意図的に開錠することは、なかなか困難であると思われる。但し、入居者から外出の希望が出た際は、極力、その都度外出が出来るように努め	○	鍵を掛けることの弊害については理解しているつもりだが、安全性を一番に考え、また、可能な限りスタッフが付き添うことで入居者の希望・葛藤の把握にも努めたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフは入居者の所在の把握や安全確認に努め、共有スペースに常時スタッフが居られるよう心掛けている。また、状況に応じナースコールも使用している。	○	入居者のプライバシーを守りながら、安全確保に努めたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の残存能力に合わせ、薬や日常品の使用・管理を行っている。	○	入居者、一人ひとりの残存能力をしっかりと把握し、状態に応じた対応を心掛けたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	防災訓練を通じ火災や震災の知識を学び、対応の仕方を検討している。また、ヒヤリ・ハット事例が起きた場合には、速やかにスタッフ間で情報交換を行い対策を考えている。服薬確認も行っている。	○	事故に対しての勉強会・検討会を企画し、身の回りの状況を把握。必要があれば、変更・改善をして行きたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応時電話連絡の訓練、また、夜間急変時の緊急対応者の確保に努めている。	○	定期的に応急手当などの勉強会や講習会を開催したい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練時に入居者を安全に移動させる方法、避難経路の確認を行っている。	○	常に人命が第一であると捉え、地域との連携・協力体制も必要であると考える。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	状況の変化に合わせ危険・リスクなどの報告・連絡・相談を行い、スタッフとご家族の情報共有に努めている。	○	入居者の置かれている状況を、正確・的確にご家族に伝え、ご家族の協力の下、可能な限りホーム内で生活出来るよう、支援して行きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、定時のバイタルチェックと、体調の変化が見られた場合のチェックを行い、スタッフ同士の声掛け及び個人記録・申し送りノートを使用した連絡。必要時、主治医への報告を行っている。	○	入居者の状態把握に努め、迅速な対応が取れるよう務めたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医と相談し、薬の効能を調べ、照らし合わせながら使用し、症状の変化を更に主治医に報告している。	○	使用薬剤についての勉強会を行うなど、医療面においても知識を向上させて行きたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事摂取量を把握（記録）し、水分摂取や活動などの声掛けを行っている。また、消化・吸収しやすい食事や食事形態の見直しを行っている。	○	不健康・不快な症状が少しでも減るよう務めたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケア（入居者の状態に合わせた介助）を行い、義歯装着者には、義歯洗浄剤の使用をご家族と検討し、実施している。	○	不健康・不快な症状が少しでも減るよう務めたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の状況に応じた介助や加工を行い、食事摂取の状況を確認・検討している。また、入居者の嗜好を考慮し、メニューに反映出来る範囲で対応している。水分摂取量のチェックを行い、目標を1,200～1,500cc程度とした声掛け・介助などを行っている。	○	入居者の嗜好を考慮した上で、なるべくバランスの取れた食事や食事摂取量を心掛けたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	日頃から手洗い・うがいを励行している。またマニュアルを作成し、使用している。	○	感染症予防に努め、感染者が出た場合にも、速やかに医療機関に報告し対応を検討するなど被害の拡大を防止したい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材については、極力、毎日の買い物で調達するようにし、食事の都度調理するよう務めている。また、毎食後、ふきんや手拭きを交換し、使用した調理器具の衛生管理にも気を付けている。	○	衛生管理に注意し、安心・安全な食事の提供に努めたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	敷地内入り口と玄関横に花壇を設け、玄関前のスペースを広く取るなど、訪問者が抵抗を感じないように務めている。	○	花壇やスペースを活用し、誰もが出入りし易い環境作りを目指したい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日頃の清掃と、年に数回専門の業者による清掃を行うことで衛生管理に務め、季節や場面に合った装飾を取り入れている。また強い日差しを遮るため、カーテンやよしずを使用するなど、日頃の環境作りを行っている。	○	季節に合わせた装飾や行事を取り入れ、居心地の良い環境の提供に努めたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の状態・状況・希望に合わせた環境作りに務めている。	○	入居者一人ひとりにとっても居心地の良い空間になるよう、相談・検討して行きたい。

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ご本人・ご家族と相談し、入居者にとって馴染 みのある物、必要な物を持って来て頂き、部屋に配 置している。が、ご家庭の事情もあり、なかなか 思うように居室内の環境が整わない	○	可能な限り、馴染みの生活環境を継続できるよ う、支援して行きたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	窓の開閉。状況に応じて冷暖房を使用するなど、 入居者の体調管理に気を配っている	○	必要なときに、必要な換気・空調を心掛け、入 居者の体調管理に気を付けたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	各フロアをバリアフリーとし、トイレや廊下に手 摺りを設置しており、入居者の能力に合わせた対 応が可能となっている。	○	安全かつ自立した生活が営めるよう、環境を整え たい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	目印や名札、張り紙なども活用し、混乱や失敗を 未然に防ぐ努力をしている。	○	失敗や混乱を未然に防ぐよう努めたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	洗濯物を干したり・たたんだり、花壇の水くれを 行ったり、玄関先で日光浴・外気浴を行うなど気 分転換の場として活用している。畑に関しては、 一部の入居者の不安を煽る場合がある為、様子を 伺って有効に活用したい。	○	ある物、空間を有効に活用し、入居者の生活に広 がりを持たせたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

Ⅴ. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホーム サンタクロース・2階

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない 運営推進会議は開催できていないが、散歩・買い物を通じ、地域の中に理解者が出来てきていると感じる。
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)